

2024 Gift ANNUAL REPORT

認定NPO法人Gift

2024年5月期 アニュアルレポート

2024年9月発行

INTRODUCTION

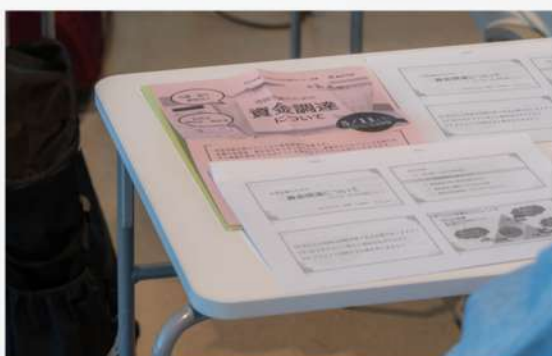
はじめに

お陰様でGiftは8月9日に7歳の誕生日を迎えることができました。人間だと小学1年生となります。募金箱設置代行事業からスタートした当法人は、現在はNPOの財務や組織基盤を整えるサポートを中心とした事業を行うようになりました。

この第7期は、一般向けのイベントなども多く開催して幅広く多く方にご参加いただき、さらにチームで寄付キャンペーンを行いました。NPOのサポートを続ける中で、会計が整うと資金調達ができるようになり、事業も順調に回りだすということを実感しています。

これからもNPOがお金が理由で活動を諦めるということがないよう、しっかり支援してまいりますので、引き続きの応援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

今回の報告書ではこれまでGiftがサポートを行った団体のインタビュー記事も掲載しています。ここではインタビューを通して、私達の活動を実際の事例からご紹介しています。ぜひ最後までお読みいただくと幸いです。



ACTIVITY REPORT FOR NPO

NPO向け支援事業 事業報告

NPO向けの支援事業は6ヶ月の連続講座【F,Lab】を中心に行ってきましたが、新たに外部講師をお招きして、単発でも受講できる【F,Lab+α】を実施しました。また、外部との提携講座や、個別の会計財務のサポートや法人の規約作成の支援についても行いました。



相談支援・コンサルティング（実施回数：151回 | 述べ相談団体数：37団体）

会計や法人運営に関する相談支援コンサルティングやNPOの認定化支援も行った

※2024年7月に1団体 認定NPO法人化 決定

オンライン無料相談会（実施回数：14回(1回:1枠30分×4枠) | 述べ参加者：22名）

会計や経営など、NPOの組織運営等に関する個別相談会を開催した

NPO向け会計実務講座（開催数：全6回 | 述べ参加者：15名）

事務局職員に必要な、会計や実務に関する情報をオンライン講座として開催

各回テーマ：雇用手続き、非営利・非収益・非課税の違い、インボイス、年末調整編、定額減税

NPO向け通信講座「F,Lab」（受講団体4団体 | 参加人数12名）

NPO経営に寄付を取り入れ、認定NPO法人を目指すプログラム

F,Lab+α（オープン講座）（述べ受講者：38名 | 開催数：全6回）

外部講師をお招きし、資金調達や会計以外の組織づくりやリーダーシップなどの講座を行った

- NPOでのキャリアの作り方（NPO法人市民ネットすいた理事長 柳瀬真佐子）
- Canvaデザイン改善道場（キフフ 小さなNPOを応援するグラフィックデザイナー 林田全弘）
- NPO組織運営を考える（アカラ・クリエイティブ代表 井上健一郎）
- メンバーとのコミュニケーションで成功するリーダーと失敗するリーダーの違い（日本組織改革研究所代表 叱り方コンサルタント 吉田裕児）
- お金のマインドブロックを外す！（ソニー生命保険株式会社 古川龍生）

他団体共催イベント(開催数：全3回 | 述べ参加者：52名)

- 「NPO向けAdobe Expressでチラシ作成」 FANTAS 中尾隆
- 「最適解を導き出すディベートセミナー」 株式会社ソフィアネットワーク 代表取締役 岩崎義久
- 「ファンドレイジングをデザインする」 認定NPO法人テラルネットワーク 小田 起世和

講師・メディア出演依頼（全6回）

- ・ゲスト出演：ラジオ岸和田、KIWA倶楽部、Podcast 経営者の志、Podcast 会う力
- ・セミナー講師：茨木市市民活動センター NPO向け会計セミナー・NPO向け資金調達セミナー

ACTIVITY REPORT FOR PEOPLE

一般向け・啓発活動事業 事業報告

第7期では、「一般の人にもっとGiftの活動や想いを知っていただきたい！」そんな想いで多くの一般向けのイベントを開催してきました。新しい企画も含めて、講師として登壇してくださった方々や、ご参加をいただいた参加者の皆様と、楽しみながら、Giftが循環する社会について感じていただけたのではないかと思います。



Dialogue on Issue（開催数：全3回 | 述べ参加者：34名）

「これまであまり注目されてこなかった社会の問題」や「問題としては知られているものの、まだあまり話されていないこと」を話し合い、より良い社会の可能性を探求する場を提供した

07月08日（土） | ゲスト：World Seed 代表 岡見厚志

11月26日（日） | NPO法人ゆるん 理事長 後藤さやか

Circular Design College～繋がりを大切に作る社会づくりを学ぶ～

（開催数：全3回 | 述べ参加者：31名）

ソーシャルな活動で一步先の取り組みを行うゲストから、ビジネスや日常の中でこれまでの価値観を抜け出した新しい選択肢を得るための視点や着眼点を学ぶために連続講座を開催した

01月13日（土） | ゲスト：非営利株式会社eumo 新井和宏

02月27日（火） | ゲスト：大阪大学フォーサイト株式会社 代表取締役 松波晴人

03月19日（火） | 認定NPO法人DxP 理事長 今井紀明

学校では教えてくれないお金の話（開催数：全12回 | 述べ参加者：78名）

義務教育ではあまり触れられてこなかった個人のお金周りの話や税金の話など、個人はもちろん、自身の周囲の幸せのために正しい知識を身に付けてもらい、より良い社会生活を送ってもらうため、基本的なお金の考え方・知識について身につけてもらうための情報提供のための講座を開催した

講師：ソニー生命保険株式会社 古川龍生

Giftラジオ・Live配信（配信数：全20回）

月に2回を目途に寄付体験についてゲストを交えて話をするラジオ番組の配信を行った

メインパーソナリティー 栗原裕子

子どもの居場所事業：自由な学校ころころ（利用者数：6名）

不登校や行き渋りのある子どもとその家族を対象とした、子どもの居場所の運営と保護者向けの相談会を実施した
居場所内イベント 実施回数：全5回 開催

親の会 開催：第3土曜日開催（不定期）、述べ参加人数15名

自由な学校ころころ事業の終了について・・・

2024年5月末をもって、自由な学校ころころは、より不登校支援の専門性の高いNPO法人ウィークタイに事業譲渡することになりました。子どもたちが安心できる居場所として、今後も引き続き豊中にて運営は継続されますが、Giftとしては、そのような居場所運営団体が持続できるように、運営団体の支援を積極的に行っていきたいと思っています。

ACCOUNTING REPORT

会計報告

【2024年5月度決算と前期比較】

勘定科目	前期	当期	当期構成比
NPO向け事業収入	935,820	2,180,780	46.3%
ころころ収入	474,000	318,100	6.7%
F,Lab収入	781,500	0	0.0%
市民向け事業収入		103,500	2.2%
寄付金収入	1,966,582	2,097,195	44.5%
会費収入	10,000	14,000	0.3%
受取利息	0	1	0.0%
雑収入	1,200	0	0.0%
収入合計	4,169,102	4,713,576	100.0%
事業費			
人件費	2,728,621	2,129,428	45.2%
ころころ経費	470,358	419,637	8.9%
NPO向け事業経費	208,585	1,081,651	22.9%
市民向け事業経費		107,778	2.3%
事業費計	3,407,564	3,738,494	79.3%
売上総利益	760,338	975,081	20.7%
管理費			
福利厚生費	31,250	5,282	0.1%
業務委託料	18,000	437,795	9.3%
旅費交通費	23,300	47,820	1.0%
通信費	55,966	50,103	1.1%
備品・消耗品費	170,848	105,013	2.2%
租税公課	5,500	0	0.0%
支払手数料	100,327	108,287	2.3%
支払報酬	186,063	132,000	2.8%
会議費	5,000	0	0.0%
雑費	265	0	0.0%
報告費		140,070	3.0%
諸会費	9,600	18,825	0.4%
研修費	16,500	9,900	0.2%
管理費合計	622,619	1,055,095	22.4%
税引前当期純利益	138,919	-80,013	-1.7%
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	1.5%
当期純利益	68,919	-150,013	-3.2%

収益は、NPO向け事業収入が前期に比べて2倍以上増加しました。
会計や財務の相談の増加、NPOの内部規程類の作成事業等の依頼をいただくことができました。
また、夏の寄付キャンペーンで**サポーターが増加**し、寄付額も増加しました。

人件費については、10月以降は**事務局スタッフ不在**の状態での運営となり、前期より減少しています。
また、NPO向け事業や、一般向けのイベント開催などで、**講師謝金や業務委託費等の経費が増加**しています。

管理費の業務委託料は、Webの更新など広報に関する業務を外部に委託しました。また、報告費については、年次報告書の作成並びに郵送や、デザインに関する費用、メルマガ配信システム利用料を含んでいます。

年間を通して、経費を抑える努力はしていますが、**結果はマイナス**となってしまいました。**支払単価の上昇**など今後も経費の増加が見込まれます。そのため、NPO向け事業で成果を出し、ファンディングも引き続き行い、安定した運営ができるよう努力していきます。

ACTIVITY PLAN: NEXT YEAR

次年度の事業計画

【2025年度の実業計画】

NPO向け支援事業に資源を集中させ、今までの小山一人のマンパワーによる会計・財務に特化したサポートではなく、理事メンバーや、会員、外部の協力者等と連携し、チーム Giftとして総合的にNPOの支援事業を行えるようにしていこうと考えています。

具体的には、①自主開催の講座などを企画し、まだ届いていないNPOへもアプローチし、②NPOが抱える本質的な課題をしっかりと明確にし、③NPOが安定した資金調達ができる組織づくりを目指した、コンサルティングやサポートを行っていきます。

また、Giftとしての組織基盤を整えるために、①現状の資金繰りを改善するため、寄付チラシによるキャンペーンと年末寄付月間での積極的なファンドレイジングを行い、②安定した事業ができるよう人材を確保し、③事業の拡大を行います。

【2025年度予算】

項目		合計
収益		
事業収益	NPO向けサポート事業	3,826,000
寄付収入	月額寄付・単発寄付	3,035,000
会費収入	正会員（1000円×15名）	15,000
収益合計		6,876,000
事業費	人件費（役員・事業スタッフ）	2,830,000
	家賃	120,000
	業務委託料・外部講師謝礼	1,254,000
	通信費（zoom、クラウド利用料等）	261,000
	交通費（NPO訪問交通費）	180,000
	広報費（Web、マーケティング経費）	1,380,000
	備品・消耗品費他	163,000
管理費	人件費（管理スタッフ）	200,000
	支払報酬（税理士報酬）	132,000
	支払手数料（カード決済手数料）	102,800
	報告費等（活動報告作成、郵送）	210,000
経費合計		6,832,800
利益		43,200

INTERVIEW

支援団体インタビュー

会計基盤を整え、作業時間だけでなく
未解決のモヤモヤも解消し、事業をさらに前へ

特定非営利活動法人動物解放団体リブ：代表理事 清水 碧さん

動物利用問題を初めて知ったのは大学3年生の頃でした。調べれば調べるほど、あらゆる社会問題の根源に動物利用が絡んでいる事を理解するようになりました。
その結果、動物解放活動に集中して自分の時間を投下すべきだと考え、動物解放団体リブのメンバーとして動物解放活動に取り組む決意をし、現在に至ります。

「この現状をなんとかしたい」という想いで、目の前の支援活動に必死に取り組むNPOですが、その裏側では、様々な事務作業が発生しています。「地味なことはなかなか表に見せられないので、頑張っている、何もしていないように見えてしまうこともある。」そう話すのは「人間を含む全ての動物に対する差別や抑圧のない世界」を目指し、動物利用問題の解決に取り組むNPO法人「動物解放団体リブ」の代表を務める清水碧（しみず みどり）さん。

会計など事務作業は光の当たりにくい仕事ではありますが、NPOが安定的に活動をしていくためにとても重要です。2021年に前代表から引き継ぎ、会計等を整えたことで、安心して事業に向き合えるようになったと話されるみどりさんに1年間、Giftとともに取り組んできた会計のお話を伺いました。

特定非営利活動法人動物解放団体リブ：ミッションは動物解放。「知識と共感で動物解放を早める」というスローガンのもと、動物利用問題やそれを取り囲む社会状況に関する調査・研究事業、知識と共感を軸にした啓発事業などを通して、動物利用問題の根本解決を目指しています。

代表交代後に、バックオフィスを整える必要があった

—リブに参加してから、すぐに代表になられたのですか？

代表になったのは、リブに参加してから約1年経った後だったと思います。前代表の目黒は、自分が代表には向いていないと自覚しながら、「動物解放」という最終ゴールを明確に主張する団体が必要だという想いから、団体を立ち上げました。ずっと代表を任せられる人を探していたようで、参加して割と早いタイミングで代表になりました。



保護された元猟犬とみどりさん

—代表をやってみないかと言われて、正直どんな気持ちでしたか？

「いや、待って」って思いましたよ（笑）「無理じゃない？」と思ったんですけど、目黒が引かなかったんですよ（笑）話しているうちに、私も良くも悪くもあまり肩書きにこだわっていないところがあって、代表になろうと思ったんですよ。

—代表になった当時のリブの活動内容や組織の状態はどうでしたか？

私がリブに入る前は、動物園水族館の日本一周調査を目黒がやっていて、イルカ漁と捕鯨の知識を本（書籍「イルカ・クジラ解放」）にまとめている最中に、代表を交代しました。得意分野が違うので、最初は、私の代で何を大事に事業をやるべきなんだろうという葛藤がありました。

目黒の支援者さんがリブを支えていたので、私が代表になったら「どこの小娘が」みたいに思われるのではないかなど、色々な不安もありました。ただ、当時はバックオフィスが全然整っていなかったのが、事業を思いっきりやるために集中して片付け作業をやっていきました。

イルカ・クジラ解放
代表理事



会計業務が煩雑すぎて、「自分の報酬は払わなくていいか」と思った

—バックオフィスを整えるにあたって、最初の1年はご自身で会計をされていたと伺いましたが、どんなことが大変でしたか？

大学が経営学部だったので、一通りの基礎は分かりましたが、「どういう勘定科目で処理したらいいんだろう？」って、たまに分からなことが出てくる時は困りました。NPO特有のものだと検索しても情報がなく、1番のストレスでした

特に謝礼とか、人に対して支払うものだと、物を買うのと比べて税金や源泉徴収があり、処理が負担になっていました。一時期は「めんどくさいから、自分への報酬は払わなくていいかな」と何回も思ったくらいです。



みどりさんとGiftの小山

調べても分からないという状況がストレスだったので、Giftの会計相談会・個別相談会*でまとめて解消できたのは本当にありがたかったです。

*会計相談会とは？：会計の悩みや迷いなどを気軽に聞くことのできる、月に1度のオンラインの無料相談会

—会計業務が負担になって、本来やりたい活動に注力できないこともあるので、分からないことをすぐに相談できる相手があると助かりますよね。

業務自体にかかる時間もそうですが、「未解決のこと」があると精神的な負担になっていたと思います。やりたいことに注力するために、バックオフィスを整える必要がありますが、小さな団体は会計の専門家を雇うこともできないし、多くの団体が抱えている問題なんだろうなって思います。他の小さなNPOの皆さんもGiftのF,Lab（エフラボ）*なども受けてもらったらいいなと思います。

*F,Labとは？：NPOが寄付を経営に取り入れ、認定NPO法人を目指すためのオンラインプログラム

会計事務所に任せることで、業務量は1/3以下に。 安心して事業に注力できるように

—リブさんは現在会計事務所と契約されていますよね。資金に余裕がないと、代表が会計も担う場合も多いと思いますが、専門家に頼んだ理由を教えてください。

特にNPO法人は、会計のことで間違ったらダメじゃないですか。勉強をして大体の処理は分かってきましたが、9割分かってても残りの1割が分からない。精神的な負荷が、事業も圧迫しているなって感じていたんです。

私が代表になって「組織化を進める」という方針に変えました。金銭的な負担に対する葛藤もありましたが、信頼できる団体であるということが重要なので、専門家に頼みたいと思い、Giftに相談して、会計事務所を紹介してもらいました。

—会計を専門家に頼むようになり、変化はありましたか？

会計の処理を間違えてしまったらどうしよう、NPO法人としてアウトだったらと心配や恐怖感がありましたが、最低限のことをしていれば、あとは会計事務所が処理してくださるので、安心感が全然違います。自分の中でのイメージでは「縦横5メートル四方のふかふかのベッドがあって、いつ後ろに倒れても大丈夫」みたいな感じでした（笑）

会計の処理に時間がかからなくなったというのも大きいですけど、この安心感があるから前を向いて事業のことを考えられるようになったと思います。それまでとは雲泥の差です。

— 私たち Gift は会計業務をサポートすることで、団体が「本当にやりたい事業」に注力してほしいと
思ひ、日々活動していますが、リブさんはまさにそれを体現してくださっています。

リブとして、「問題を伝える」「ヴィーガンを支える」「活動家を育成する」という3本柱を軸に私の代で活動して
いこうと決め切れたのは、会計の不安や恐怖から脱却できたからだと思います。「自分への給料をゼロにしてもい
いから会計を頼みたい」そんな気持ちで思い切ってお願ひしてよかったなって思います。

— 会計業務の量は、どれくらい減りましたか。

月締めでやっていた会計処理の仕事を元々6~8時間かけてやっていたんですけど、今は1~2時間ぐらいで終わ
ります。さらに重要なのは1回で完結するってことなんですよね。前は1日かけて作業した上に、未解決の部分が残
ってズルズルとってしまってたんですけど、今は一度で終わる。これは大きいです。

— これで合ってるのかな？って不安になっちゃいますよね。

本当にそうなんですよ！不安になって調べることが精神的負担になっ
ていたので、脱却できたのはすごく大きいです。6時間から2時間
って聞いたらたったの3分の1って思うかもしれませんが、精神的負担
も含めると、時間以上に気持ちも楽になってます。



活動と会計のことをリンクさせる力が身についてきた

— 会計が理解できると、団体の中でのお金の流れを掴めるようになり、資金調達にも変化はありまし
たか。

会計業務を全部丸投げしてやっていたら、それはそれであまり良くない気もしています。処理してもらった会計
情報からお金のことを把握するのも、経営者にとって重要じゃないですか。

最初の1年は自分で会計をやってきて、Giftにも相談しながら理解を深めてきたからこそ、今では活動の規模から
収入の予測をしたり、計画を立てたり、どの経費を削減するかといった発想をできるようになってきました。活
動とリンクして会計のことを考えられるのは重要だし、少しずつそうした力が身についてきたかなと思います。

— 一人で会計をした経験があった上で専門家をお願いしているので、会計を事業に活かしている
ということですね。

そうですね。今はまだあまり出来ていないんですけど、経費の項目ごとに推移を毎月チェックまでしていけるよ
うになると、安心した土台の上で事業に向かっていけるなと思います。それが理想形ですね。

— 寄付者の方々に報告する際にも信頼性が高まると思いますが、リブさんもマンスリーサポーターの
数には変化がありましたか。

さらに改善はしていきたいんですけど、自分で会計を見ているからこそ、寄付の活動に活かした事業について説
明ができるようになってきました。去年12月に寄付者限定イベントで活動の説明をしましたが、「寄付を大切に使
わせていただいています」って、その一言に「事実」が含まれているというか、本当にありがたさを感じます。ま
だ満足していないので、もっと会計情報を開示していきたいなと思ってます。

— 会計を見ているからこそ、「寄付を受け取っている」という感覚が強くなりますよね。

本当にそうです。会計を整理して開示できる段階に来たからこそ、さらにその先へ進みたいと思っています。
例えばマンスリーサポーターが何人いればこんなことが出来ますとか、寄付がこれくらい集まれば、この規模で
プロジェクトが出来ますとか、未来のこともしっかりと伝えられ、新しい寄付者の方々に對して説明が出来る
と思っています。今後はスタッフを雇っていきたいという気持ちがあるので、クリーンな団体であるのは大事だ
し、発信していきたいです。

—とても素敵ですね、聞いていると応援したくなります。会計について向き合って、さらにチャレンジしているリブさんを、多くの人に知ってもらいたいなと思いました。

私も最初の1年はずっと苦しかったんですよ。会計・バックオフィスを整え、効率化させるような地味なことは、表に見せられないので。

頑張っているんですけど、外からは何もしてないように見えてしまうこともあり、それが辛くて。でも、辛くてもやるしかなかったんですよ。支援者が減ったとしても、それは今やるべきことだって言い聞かせながら対応していました。

税金のことや会計のことがわかってきて、バックオフィス業務のフローが整い、事業でも目指すことが見えてきて、ようやく全部がうまく回り出してきたなと思います。



情報もお金も人も何も無い。 そんな小さな団体にこそGiftを紹介したい

—最後に、リブさんの今後の展望についてお聞かせください。

「動物利用」の問題は、食事や衣服など本当は全員が関わっている深刻な問題なんですけど、ポジティブなトーンも大事にしながら活動していきたいと考えています。

私たちの活動の中ではヴィーガンの推進が重要なんですけど、ヴィーガンになるというのは相当なライフスタイルの変化が必要なので、家族との食事が今まで通りではなくなったり、葛藤や争いが起きることもあります。でも、そうした体験談も笑いながら紹介していくとか、真面目なことは大前提なんですけど、真面目さの上に「面白さ」「楽しさ」を乗せて、伝えていきたいなとも思ってるんですよ。

西洋的な活動手法をそのまま日本に持ってきて失敗した事例もあるので、日本に適した活動のやり方を模索していて、その内の一つが、明るくポジティブに、ヴィーガンになっていこうよという空気感を作っていくことだと思っているんです。もちろん、深刻な問題を軽視させるような表現という訳ではありません。日本に合った伝え方でヴィーガンを増やして、最終的に、動物が利用されない社会という遠いゴールに向けて走り続けたいなと思っています。

会計の部分では、計画を立て、収入を上げて、組織化を進めていくことで、社会的インパクトを与えられる団体になれると思っています。改善したいことが山ほどあるので、本当に出来るのかなど不安になることもありますが、一つ一つやっていきます。

—最後に何か言っておきたいことはありますか？

私の勝手な妄想なんですけど、Giftがやっていることってすごい大事なことで、行政から委託されていいと思ってるんですよ。本当に。私たちみたいな団体が、これだけ変わってるんです。大きな団体はお金があるから色々頼めていいけれど、最初は小さくて情報もお金も人も何も無い団体こそ、Giftのような存在が必要だと思うので、Giftを他のNPOの方にも布教したいです（笑）

—読者の皆さん、言わせてませんか（笑）

（笑）本当にそれぐらいの気持ちを持っているし、もしいずれ別の動物系の団体が生まれれば、Giftを紹介したいです。

—本当にありがとうございました。

特定非営利活動法人動物解放団体リブ

ミッションは動物解放。「知識と共感で動物解放を早める」というスローガンのもと、動物利用問題やそれを取り囲む社会状況に関する調査・研究事業、知識と共感を軸にした啓発事業などを通して、動物利用問題の根本解決を目指しています。

- ・WEBサイト：<https://animal-liberator.net/>
- ・寄付先：<https://syncable.biz/associate/LIB/donate>



SUPPORTER

サポーター

Giftサポーター

のべ143名

(マンスリー74名 単発69名)

1人100円でも、日本の人口の1割の人が寄付をしたら、10億の寄付が集まる。
ただ、たとえ小さな寄付でも、その寄付で何ができたのかがわかることで、「寄付してよかった」と思える。そんな寄付を増やしていきたいと思っています。

たくさんの方に支えていただいています
一部ではありますがご紹介します(敬称略)

※2024年9月末現在

アカラ・クリエイト 井上健一郎	株式会社Okuchi・Happy Create	有限会社 関西マーケティング研究所	工藤冷暖サービス
小泉雄	佐藤慶宏	セブン・イレブン 練馬関町北3丁目店	ソニー生命保険株式会社 古川龍生
鶴岡龍介	Dear Consulting	日本組織改革研究所 吉田裕児	FANTAS 中尾隆
FTwork株式会社 松浦悠記	松波晴人	八木佑馬	山崎景一

サポーターの声 / 日本組織改革研究所 代表 吉田裕児さん

いつも進化し続ける小山さんとGiftの仲間たち
私がなぜ小山さんとGiftを応援するのか。それは常に目指すビジョンミッションに向けて進化し続けているからです。『寄付する喜びを広げる』『お金を理由に夢を諦めてしまうNPOを救いたい』という想いを胸に精一杯自分のできることをして、周りの人たちを巻き込みサポートしています。そして、Gift(恩贈り)の循環という輪がどんどん広がっています。そんな小山さん、Giftの仲間たちをこれからも応援していきます!

認定NPO法人Giftへの寄付の詳細はこちら

右のQRを読み込んで、金額をお選びいただくだけでクレジットカードから簡単にご寄付ができます。毎月300円からの月額サポーターも募集しています。



銀行振込の場合…

ゆうちょ銀行：四〇八支店 普通預金 4356352 トクヒ) ギフト
※ゆうちょ銀行からの振込は 記号番号 14050 口座番号43563521

ゆうちょ銀行以外の場合…

三井住友銀行 徳庵支店 普通預金 1852010 エヌピーオーハウジングギフト

~ THANKS ~

おわりに/理事長 小山 真由美



この一年間も、ひたすら走り抜けた感じでした。

昨年の秋ごろには、人も離れ、資金もショートしそうになり、必死に講座や相談会を行い、事業を継続させるために、できることは何でもやってきました。中盤には、継続してサポートしているNPOの方々の決算等のサポートや、新たにNPOの規約等を整えるお仕事も受注することができ、すこしずつ改善し、手ごたえも感じられるようになってきました。

また、12月頃からは、メンバーの協力でイベントの企画などを行い、NPO向けや一般の方向けのイベントも多数開催することができました。お忙しい中、引き受けてくださった講師の方や、企画から運営まで手伝ってくださった仲間にも心から感謝しています。

情報発信としてはGiftラジオや、オンライン配信なども行ってきました。

いろいろと行っていくなかで、取捨選択を繰り返して、よりGiftという法人が社会に対してできることは何かということを常に考え、行動していきたいと思っています。

いつも応援してくださる皆様には、本当に感謝の毎日です。

励ましのメッセージや、悩みを相談できる人がいることは、本当にありがたいです。

これからも、ぜひ、Giftと一緒に、様々なGift（資源）が循環する社会を広げていってください。これからもよろしくお願ひいたします。

新理事就任のあいさつ/理事 遠藤 龍

この度、認定NPO法人Giftの理事に就任いたしました。

2016年に任意団体Giftの立ち上げに関わり、その後、少年院での教育活動や組織運営に携わり、法務本省にて、人事・給与事務の効率化に取り組みました。様々な経験を経て、今こうしてGiftに再び参画できることに、感慨深い想いを抱いております。

「組織・人を活かす仕組み・ルールづくり」を私自身の専門性として、NPOの内部規程整備や法人化の支援を通じて、Giftのミッションである「NPOの財務と組織の基盤を固め、社会的事業への信頼を高める」ことに尽力して参ります。

ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



理事 遠藤 龍

神戸大学法学部卒業後、少年院で4年間、非行のある少年への教育・社会復帰支援に携わる。その後、法務省大臣官房にて、人事・給与事務のIT活用による効率化に従事。現在は退職し、司法書士の受験生をしつつ、学生時代に立ち上げたGiftに再び参画。組織・人を活かす仕組み・ルールづくりを専門とし、内部規程整備や法人化のサポートを行う。趣味は香川のうどん屋巡りとソロキャンプ。

法人概要

法人名：認定NPO法人Gift

所在地：大阪市福島区玉川

法人設立：2017年8月9日

認定化：2022年11月16日

理事：小山真由美、荒川隆太郎、遠藤龍

監事：上村有里

MAILアドレス：info@giftboxcharity.org

WEBサイト：https://giftboxcharity.org